

患者の望む暮らしを支援する!

看護師が行う入退院支援と 困難事例への対応セミナー

退院支援を行う上で必要な視点・情報・活用のポイントと多職種連携・在宅療養支援まで総合的に学ぶ!!

昨年の診療報酬改定より、入院前から退院後の生活を見据えた退院支援や院内外の多職種連携の強化など入退院支援が推進されています。それにより、今年にはさらに病棟看護師のみならず外来看護師も今後さらに退院支援に関わる重要な役割を担うこととなります。スムーズな退院を促し、患者本人が望む暮らしの実現に繋げていくための入退院支援・在宅療養支援について学びます。

大阪会場	日程	2019年 4/29 (月・祝)
	会場	CIVI研修センター新大阪東 (JR新大阪駅東口より徒歩3分)
東京会場	日程	2019年 5/11 (土)
	会場	CIVI研修センター秋葉原 (JR秋葉原駅より徒歩5分)
対象		病棟看護師 外来所属の看護師、退院調整看護師
時間		いずれも 10:00～16:00
受講料		11,000 円 (税・資料代込み)

講師紹介



鈴木 弥生氏
大垣市民病院看護部主任
認知症看護認定看護師

平成24年に認知症看護認定看護師を取得。平成25年から認知症の知識と「患者の立場に立つ」視点で退院調整看護師として、家族・患者の望む暮らしを支援する。現在は、認知症看護認定看護師として専従。

内容

1. 平成 30 年度診療報酬改定の概要

- (1)退院支援加算の創設と現在までの流れ
- (2)入退院支援の概要と評価
- (3)PFM とは?

2. 退院支援に必要な基礎知識

- (1)退院支援と退院調整の違い
- (2)退院支援を行う上で必要な視点・情報・活用のポイント
 - 効果的な退院支援を行うために必要な情報とは?
 - 「患者さん」は「生活者」/ 退院後の生活をイメージする
 - 退院支援スクリーニングシートの活用
 - 退院支援計画の実施・評価と効果的な退院支援カンファレンスの開催
- (3)介護保険制度の理解
 - 介護保険制度とは
 - 介護保険の特定疾病と要介護度の区分
 - 介護保険でできること
 - 介護施設サービスの種類と特徴
- (4)知っておくと便利! 退院支援に関わる各種制度
 - 難病医療費支援制度
 - 高額療養費制度
 - 各自治体が行うサービス事業
 - 日常生活自立支援事業
 - 成年後見制度
- (5)在宅で役立つ退院サマリー

※事例をもとに、実際に看護サマリーの内容を考えてみよう!

3. 入退院支援の実際と院内・院外の多職種連携

- (1)意思決定支援
 - 誰のための支援?
 - DNARとアドバンス・ディレクティブ
- (2)地域包括ケアシステムにおける病院の役割
 - 外来から始まる入退院支援
 - 外来から病棟へ～効果的な院内連携とは～
 - 病棟で行う入退院支援の実際
- (3)退院支援から在宅療養支援へ
 - 多職種によるチームアプローチ
 - 院外機関との連携と協働

4. 事例で考える退院支援と在宅療養支援 (事例検討・グループワーク)

- (1)意思決定が難しい認知症患者のケース
- (2)入退院を繰り返す誤嚥性肺炎患者のケース
- (3)独居で身寄りがない患者のケース

看護師が行う入退院支援と困難事例への対応セミナー お申し込み書 FAX 084-948-0641

ご希望の日程に✓を付けてください		大阪会場(4/29(月・祝))		東京会場(5/11(土))	
ふりがな		TEL (自宅・勤務先)		FAX (自宅・勤務先)	
氏名					
住所 (自宅・勤務先)	〒		携帯		
			PCメール		
病院名		職種		経験年数	

(定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください) 上記個人情報は、本件講座の管理・運営に関してのみ使用します。最少催行人数に達しない場合は中止になる場合があります。

お申し込み

日本通所ケア研究会

〒721-0902 広島県福山市春日町浦上1205 (株) QOLサービス内

TEL 084-971-6686

研究会ホームページ <https://www.tsuusho.com/> メール info@tsuusho.com

FAX 084-948-0641